倫　　理

（解答番号 1 ～ 33 ）

第１問　高校生Ａ，Ｂ，先生が交わした次の会話を読み，後の問い（**問１** ～ **８**）に答えよ。なお，会話と問いのＡ，Ｂ，先生は各々全て同じ人物である。（配点　24）

Ａ：この前，道を歩いていたら，お年寄りが道端にへたり込んでいて，どこか様子が変だったんだよね。声をかけた方がいいのかなって思ったんだけど，迷ってるうちに別の人が声をかけたんだ。

Ｂ：まあ，よいことを<u>ⓐ実践</u>しようとしてもなかなか難しいよね。

Ａ：でも，いつもそうなんだ。<u>ⓑ結果</u>はどうあれ，よいと思ったなら行動すべきだって思っているんだけど，その場になると行動できなくて…。

Ｂ：確かに，その場面で<u>ⓒやるべきこと</u>はやれなかったかもしれないけど，思っただけでも立派だと思うよ。自分のことしか考えていない人もいるのに。

Ａ：うーん。でも，行動できる人とは違うよ。どうして私は行動できなかったのかな…。

Ｂ：モヤモヤしてるねえ。あ，倫理の授業が始まるね。そういえば今日は，<u>ⓓ心</u>と行為についての内容じゃなかったっけ？

先生：おはようございます。今日の授業は「心と行為」というテーマに沿って様々な宗教や思想の資料を読んでいきます。色々な考え方に触れて，自分の身近な事柄についても考えてみましょう。

問 1　下線部ⓐに関して，次の**ア**～**ウ**は，様々な宗教や思想における実践についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 1

ア　イエスは，律法の形式的遵守を越えて，その精神の実践を重んじ，律法を守ることができない徴税人や罪人と食卓を共にしなかった。

イ　大乗仏教では，出家信者と在家信者の区別を超えて，ともに他者の救済を目指し，布施などの修行徳目を実践すべきだと主張された。

ウ　朱熹(朱子)は，本性を発揮させるための実践として，もっぱら自分の内なる理を窮(きわ)め，私欲を抑制して気質の性につつしみ従うべきだと説いた。

①	ア 正	イ 正	ウ 正	②	ア 正	イ 正	ウ 誤
③	ア 正	イ 誤	ウ 正	④	ア 正	イ 誤	ウ 誤
⑤	ア 誤	イ 正	ウ 正	⑥	ア 誤	イ 正	ウ 誤
⑦	ア 誤	イ 誤	ウ 正	⑧	ア 誤	イ 誤	ウ 誤

問 2　下線部ⓑに関連して，様々な宗教や思想における行為とその結果についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 2

①　パウロは劇的な回心を体験した後には，律法を忠実に実行したとしても，その結果得られるのは罪の自覚のみであると考えるようになった。

②　ウパニシャッド哲学では，現世における行為の結果，現世の境遇は変化していくが，それは来世の境遇に影響を及ぼすものではないと考えられた。

③　イスラームにおいては，終末が来ると人間は現世の行いに基づいて裁かれると考えられており，最後の審判を行うのはムハンマドとされている。

④　ソクラテスは，日々の対話の活動の結果，善美の事柄について，人知を超えた真理を獲得したと主張した。

問 3　下線部ⓒに関連して，イスラーム教徒(ムスリム)のなすべきことの一つである信仰告白の内容として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 3

① 信仰告白とは，アッラーが全ての神々を支配することを認め，ムハンマドが神の言葉を預かった者であると証言することである。

② 信仰告白とは，アッラーが唯一の神であることを認め，ムハンマドが神の言葉を伝える者であると証言することである。

③ 信仰告白とは，アッラーの他の神に対する優越性を認め，ムハンマドがカリフであると証言することである。

④ 信仰告白とは，アッラー以外に神を認めず，ムハンマドは最高の聖職者であると証言することである。

問 4　下線部ⓓに関して，様々な宗教や思想における心やそのあり方についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 4

① 仏教では，人間の心の作用は色・受・想・行・識という五つの要素に区分され，その全てが苦であると説かれた。

② 孔子は，他人に対する心の持ち方として，その心中を忖度(そんたく)し，相手を欺かないという忠が大切であると説いた。

③ イエスを救世主(キリスト)だと信じて教会(教団)を形成したイエスの弟子たちは，既に心の中に神の国が実現したと考え，最後の審判を否定した。

④ ヘレニズム期に懐疑論を唱えた人々(懐疑派)は，あらゆる判断を回避し保留することによって，心の平静を得ようとした。

問 5　次の**資料**は，授業で先生が示したものである。Bと先生が交わした後の会話を読み，会話中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 5 ］

> **資料**　新約聖書「ヤコブの手紙」より
>
> 私のきょうだいたち，「私には信仰がある」と言う者がいても，行いが伴わなければ，何の役に立つでしょうか。そのような信仰が，その人を救うことができるでしょうか。……信仰もまた，行いが伴わなければ，それだけでは死んだものです。

B　：**資料**では［ **a** ］と言われていますね。

先生：そうですね。ただし，授業でも紹介したように，［ **b** ］宗教改革者ルターは，**資料**の「ヤコブの手紙」について，聖書内の他の文書より扱いを軽くしたことで有名です。聖書やその中の各文書とどう向き合い，どう解釈するかは，キリスト教思想において重要な問題なのですよ。

① **a**　人は信仰によってのみ救われるため，信徒の生活に行いは不要である
　b　人は善行を積むことによってではなく，神への信仰によってのみ救われると主張した

② **a**　行いを伴わない信仰は，何の役にも立たない
　b　人が神と結ばれるのは聖書のみによると主張しつつ，人は信仰のみによって救われると考えた

③ **a**　信仰が行いを伴っていなければ，その信仰は死んだものである
　b　聖書に加えて教会の伝統を重視し，教会や司祭の仲介によって人は神と結ばれるとした

④ **a**　行いを伴わない信仰は，人を救うことができない
　b　聖書を重視し，聖書が人々によって多様に解釈されないように，神によって聖書の翻訳は禁じられていると説いた

倫　理

問 6　次の**資料**は，授業で先生が示したものである。Ａと先生が交わした後の会話を読み，会話中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 6 ］

> **資料**　『ダンマパダ』より
>
> 物事は，心を先とし，心を主人とし，心によって作り出される。もし汚(けが)れた心で話したり行動したりするならば，苦はその人に付き従う。車を牽(ひ)くものの足跡に車輪がついて行くように。……もし清らかな心で話したり行動したりするならば，安楽はその人に付き従う。影が身体から離れないように。

先生：これは，行為とそれに伴う事柄について説明した仏教の**資料**です。

Ａ　：この**資料**に基づいて考えると，［ **a** ］になりそうですね。でも，心を清らかにしていくためにはどのようにしたらよいのでしょうか？

先生：例えば，授業で紹介したように仏教では［ **b** ］が勧められています。

① **a**　例えば，嘘(うそ)をつくという行為を生み出す，嘘をつこうと思う汚れた心が問題の根源であるということ
　b　苦楽の両極端に偏らない生活を実践すること

② **a**　例えば，嘘をつくという行為によって，心が汚されるという問題が引き起こされること
　b　中庸を心掛けた正しい生活を実践すること

③ **a**　例えば，人を助けようという清らかな心をもって人を助けると，自分に幸福が付いて回ること
　b　苦しみから離れ，快楽を追求する生活を実践すること

④ **a**　例えば，人を見捨てようという汚れた心をもって困っている人を見捨てると，自分に苦しみが付いて回ること
　b　快楽から離れ，苦しみに耐える生活を実践すること

問 7　次の**資料**は，授業で先生が示したものである。Aと先生が交わした後の会話を読み，会話中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［ **7** ］

> **資料**　プラトン『プロタゴラス』におけるソクラテスの発言
>
> 知識とは立派なものであり，人間を支配する力を持つのであって，仮に人が善きことと悪(あ)しきことを知ったなら，他の何かに左右されて知識が命じる以外のことをなすなどということは決してない。……しかし，多くの人が主張するには，最善のことを知りながら，そうしようとせずに他のことをする人が沢山いるというのだ。

A　：**資料**におけるソクラテスの主張は，［ **a** ］ということです。

先生：そして，授業でも紹介したように彼の弟子のプラトンは，行為を導く原理としての魂を，［ **b** ］からなるとしました。例えば，なすべき行為をなさなかったといった過ちは，魂の部分間の調和が取れていないこととして説明することができます。

① **a**　多くの人は，知識が行為に及ぼす力を過信している
　b　理性・気概・欲望

② **a**　善いことを本当に知っているならば，人は善い行為をとる
　b　理性・信仰・欲望

③ **a**　最善のことを知りながら，それを行わないという事態があり得る
　b　理性・気概・欲望

④ **a**　知というものは，本来その所有者の行為を必然的に決定する力を持つ
　b　理性・信仰・欲望

⑤ **a**　最善のことを知りながら，それを行わないという事態はあり得ない
　b　理性・気概・欲望

⑥ **a**　知識以外の何らかの力が，知識よりもその人の行為を決定する
　b　理性・信仰・欲望

問 8　授業後にAは図書館で次の**資料**を見付け，42 ページの会話を思い返した。**資料**の内容，および王陽明の思想を正しく踏まえたAの説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 8

資料　王陽明『伝習録』より

知は心の本体であって，心は自然と(孝悌や惻隠を)知ることができる。……これ(心の本体である知の自然なはたらき)が良知であって，外に求められる必要のないものである。……もし心の良知に妨げがなく，それを充実・発現させることができたなら，それが致知である。

……喜怒哀懼(く)愛悪欲を七情と言い，これらは人の心に当然あるべきものである。……七情がもし自然の流れに従っているならば，これらもみな良知のはたらきであって，善悪で区別すべきではない。……ただ，七情に執着してはいけない。執着するのは私欲であり，良知の妨げである。

① **資料**では，良知は心によって知覚される対象に存在するものとされています。王陽明の致良知の思想を踏まえると，私がお年寄りに声をかけられなかったのは，まだ良知への知覚が不十分であったということです。

② **資料**では，七情に執着しても良知が妨げられることはないとされています。王陽明の致良知の思想を踏まえると，私がお年寄りに声をかけようと思ったのは，心の良知のはたらきによるものだったということです。

③ **資料**では，心の良知を完全に発現できたならそれが致知だとされています。王陽明の知行合一の思想を踏まえると，私が実際には声をかけなくとも，かけようと思うことで行為は成立していたということです。

④ **資料**では，七情への執着が良知を発揮することを妨げるとされています。王陽明の知行合一の思想を踏まえると，良知が妨げられていなければ，私はお年寄りに声をかけようという心のままに行動できたということです。

第２問　以下のⅠ・Ⅱを読み，後の問い（問１～８）に答えよ。なお，会話と問いのＣとＤは各々全て同じ人物である。（配点　24）

Ⅰ　高校生ＣとＤは，縁をめぐって次の会話を交わした。

Ｃ：この前の倫理の授業，覚えてる？　仏教の縁起の説明の中で，全てのものがつながり合って存在しているという話があったよね。

Ｄ：そうだね。ただ，日本で縁という場合には，人と人との出会いやつながりという意味で使われることが多いよね。

Ｃ：縁があるとかないとか，良縁とか悪縁とか，よく言われるね。日本人は，つながりや出会いという意味合いで，縁というものを考えてきたのかな。

Ｄ：そうかもしれないね。縁があっての出会いもあれば，縁が切れての別れもあるよね。昔の日本人は，そうした人の世のあり方にⓐ無常を感じていたと習ったのを覚えているよ。

Ｃ：人とのつながりといえば，私は，人間関係の理想的なあり方を説いたⓑ近世の思想の話が好きだな。人は，一人では生きられないでしょう。そういえば，今度の芸術鑑賞の授業では，ⓒ親子の縁の話が出てくるそうだよ。

Ｄ：親子の縁かあ…。でも，ⓓ近代になると，今度は個の自立，家からの独立が問われてくるわけだよね。気になってきたから，色々な文献を調べてみよう。

倫　理

問 1　下線部ⓐに関して，次の**ア・イ**は，この世の無常を見つめた中世の人物についての説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 9

ア　各地を旅しながら人の世の無常を和歌に詠み，自身の寄る辺なく儚(はかな)い境地を自然の風景に重ねて表現した歌を歌集に残した。

イ　移り行く人の世や変わり行く自然の姿もともに無常であると捉え，だからこそ心動かされると，随筆の中で述べた。

① **ア**　兼好(吉田兼好)　　**イ**　世阿弥
② **ア**　兼好(吉田兼好)　　**イ**　西　行
③ **ア**　世阿弥　　**イ**　兼好(吉田兼好)
④ **ア**　世阿弥　　**イ**　西　行
⑤ **ア**　西　行　　**イ**　兼好(吉田兼好)
⑥ **ア**　西　行　　**イ**　世阿弥

問 2　下線部ⓑに関連して，中江藤樹についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 10

① 儒学者として，封建社会の身分や秩序を正当化する朱子学を固守する一方で，「誠信の交わり」を旨として朝鮮との善隣外交に尽力した。

② 儒学のみならず，神道や仏教も取り入れて，心を磨く学問を確立させて，正直や倹約に基づく商人の道徳思想を説いた。

③ 儒学者として，朱子学を表面的な形式に囚(とら)われていると批判し，時や場所や身分に応じた道徳の実践を説いた。

④ 修身中心であった従来の儒学に対して，安定した公の秩序の実現を目指した儒学を志して，礼楽刑政によって世の中を治めることを説いた。

問 3　下線部Ⓒに関連して，次の**資料**は，芸術鑑賞の授業で見た近松門左衛門の『冥途の飛脚』の中で，孫右衛門が，今にも捕縛されそうな息子について思いを語った台詞の一部である。後の**ア・イ**は**資料**の内容についての説明，**ウ・エ**は近松の事績についての説明である。**ア**～**エ**から適当なものを全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑨のうちから一つ選べ。 11

資料

成人した息子と訳あって縁を切り，大坂へ養子に出したが，息子は根性に魔が差して随分他人の金を使い込み，あげく逃走し，捜索されているところ。……世の諺に言う，盗みをする子は憎くなく，縄を掛ける人が恨めしいとはこのこと。縁切った親子だから，善きにつけ悪しきにつけ，関係ないとはいっても，大坂へ養子に行き利発で器用で身持ちもよく，財産も築いたあのような子を勘当した孫右衛門は戯け者，阿呆者と言われても，その嬉しさはどうあろう。今にも探し出され，縄を掛けられ引かれる時，よい時に勘当して孫右衛門はでかした，幸せじゃと褒められても，その悲しさはどうあろう。

ア　縁を切った親子なのだからもはや関係ないといっても，孫右衛門は，縄を掛けられそうな息子の身の上に心を動かされている。

イ　孫右衛門は，縁を切った息子の評判や将来に無関心であるから，その子が盗みを働いたとしても憎いとは思わない。

ウ　近松は，天理に基づく礼や法の遵守をひたすら重んじる作品を残した。

エ　近松は，町人社会での義理と人情の葛藤や恋の悲劇を作品に描いた。

① **ア**と**ウ**	② **ア**と**エ**	③ **イ**と**ウ**
④ **イ**と**エ**	⑤ **ア**と**イ**と**ウ**	⑥ **ア**と**イ**と**エ**
⑦ **ア**と**ウ**と**エ**	⑧ **イ**と**ウ**と**エ**	⑨ **ア**と**イ**と**ウ**と**エ**

問 4　下線部ⓓに関連して，近代における縁について関心を持ったCは，次の**レポート**を書き始めた。ただし，**レポート**には，適当でない箇所が一つある。夏目漱石または和辻哲郎の思想について説明した記述として**適当でないもの**を，**レポート**中の下線部①～④のうちから一つ選べ。 12

レポート

日本では，近代以降，個としての自立を模索する様々な思想運動が登場した。それはある意味で，古い縁を乗り越えて，個人としての新たな生き方を探求していく試みと言うことができると思う。

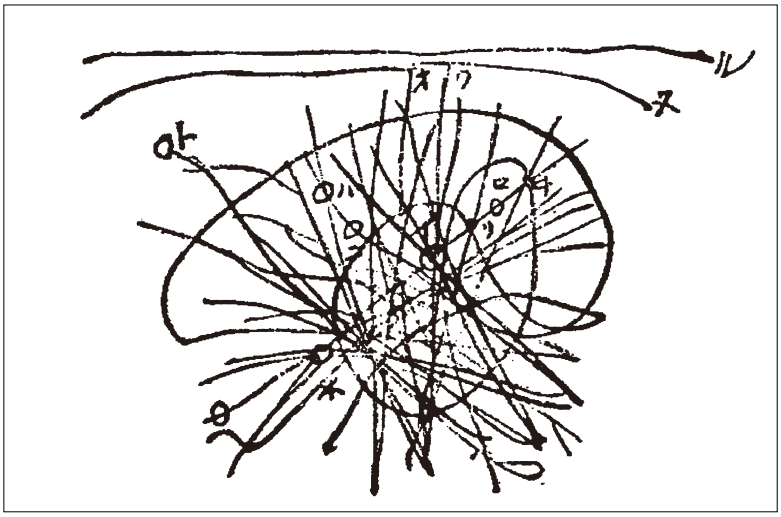
例えば，人とのつながりの中で，いかに生きるかを考えた人物に，夏目漱石がいる。①夏目漱石は，エゴイズムに囚われた人間を描くことを通じて，自己ではなく他者を優先する高次の社会的関わりを追い求めた。また，②晩年になって夏目漱石は，自我への執着を捨て去り，自然のままに生きる則天去私の境地を求めた。

一方，西洋思想に由来する個人主義を批判したのが和辻哲郎である。人は孤立して存在するのではなく，人と人との関係において生きているがゆえに，和辻哲郎は共同体に注目した。③和辻哲郎によると，日本人には自然に対して受容的・忍従的な特質が見られる。また，④和辻哲郎は，『風土』の中で，日本の風土はモンスーン型，砂漠型，牧場型という三つの類型のうち，モンスーン型に属すると述べた。

……

両者の思想は対立するように思えたが，しかし彼らの著作をよく読んでみれば，どちらにおいても個人はあくまで他者や自然との関わりの中での個人であるように思われた。このように見てきたとき，近代の人たちは，個の確立を目指しつつも，世界における新たなつながりのあり方を模索したと言えるのかもしれない。

Ⅱ　49 ページの会話の数日後，ＣとＤは，授業の中で先生から次の不思議な絵を見せてもらい，それについて後の会話を交わした。



先生：この絵は一見，落書きのように見えますが，これは「南方曼荼羅」と呼ばれ，ⓔ神社の統廃合に反対したことで知られる南方熊楠が描いた世界の姿です。彼は，この絵のように，「前後左右上下，いずれの方からも道理や筋道が行き渡り，そのことがこの宇宙を成している」と述べています。

Ｃ　：熊楠は道理や筋道が縦横無尽に展開するさまを描いたわけだけど，この絵を見ていると，世界は無数の糸でつながっているような感じがします。

先生：熊楠は，古い社や境内の森林を破壊すれば，貴重な生態系が崩れるとともに，その地域に住む人々の信仰心が薄れて伝統文化が衰退し，地域やⓕ社会におけるつながりが失われると考えていました。

Ｄ　：熊楠は，人と人とのつながりと共に，ⓖ人と他の生き物や自然全体とのつながりに，広く目を向けていたのでしょうか。

Ｃ　：なるほど。人は，社会だけでなく，自然ともつながっているのですね。そういう大きなつながりの中で，縁について考えていくと面白そうです。

問 5　下線部ⓔに関連して，次の**ア・イ**は，古代・中世日本の神々をめぐる思想についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 13

ア　古代の日本では，鳥や獣をはじめ，草，木，岩石などの事物にも神々が宿ると考えられており，祟(たた)りをもたらす神の排除を祭祀(さいし)の中心に置いた。

イ　日本の神々への信仰が仏教と結び付く中で，伊勢神道は神や道理に対する純粋な心情である正直の徳を説いて民衆の間に広がった。

① **ア**　正　　**イ**　正
② **ア**　正　　**イ**　誤
③ **ア**　誤　　**イ**　正
④ **ア**　誤　　**イ**　誤

問 6　下線部ⓕに関連して，社会の問題を考えた人物についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 14

① 武者小路実篤は，人道的な理想主義を批判して，自然主義の立場から，あるがままの人間の内面の姿を描こうとした。

② 西光万吉は，「人間に光あれ」と訴えて，部落解放運動を指導し，差別のない世界を作り出そうと尽力した。

③ 河上肇は，人道主義の立場から貧困問題に取り組み，社会の改良を目指したが，国家への不信感から無政府主義的な直接行動を取るに至った。

④ 石川啄木は，貧困や病と闘いながら人間らしい生き方を実現するために，国家権力を肯定して国家に庇護(ひご)される道を求めた。

問 7　下線部ⓖに関連して，次の**資料**は，生あるものに対する親鸞の考えを記したものである。**資料**を読み，親鸞についての記述と**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 15

資料

（わたし）親鸞は，亡き父母の供養のために念仏をとなえたことは一度たりともありませんでした。その理由は，生きとし生けるもの全てが，この世に生まれ変わりを繰り返す中で，父母となり兄弟となるからです。だから次の生で，仏となって生まれるときには，いかなるものも救わなければなりません。……仏になれば自在な方便によって，縁のあるものがどんな苦しみの中にあろうとも救うことができるでしょう。

（『歎異抄』より）

① 親鸞は，我々の生や宇宙の永遠の真理そのものを大日如来と捉え，人間も仏も本質的に同一であると説いた人物であり，**資料**では，特定の生きものを選択してその救済を願うことが重要だと述べている。

② 親鸞は，他人の罪深さを見付けて指摘することこそ，本願の真理だと説いた人物であり，**資料**では，自分の肉親だけでなく生きとし生ける全てのものを救うべきだと述べている。

③ 親鸞は，阿弥陀如来のはからいによって，極楽往生できると説いた人物であり，**資料**では，特定の人物だけを供養しようとするのではなく，生きとし生けるもの全てを救済すべきだと述べている。

④ 親鸞は，念仏の力によって，極楽往生するという絶対他力思想を説いた人物であり，**資料**では，自分の肉親を除く全ての生きとし生けるものの供養をすべきだと述べている。

問 8　Dは学習のまとめとして改めて縁について考え，次の**レポート**を書いた。**レポート**の内容に合致する記述として最も適当なものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。 16

レポート

人生には色々な出会いや別れ，つながりや巡り合わせがある。そのような関わりを，日本人は縁と呼んできた。例えば，芸術鑑賞の授業では，親子の縁をテーマにした作品もあった。また「南方曼荼羅」の学習では，様々な線や渦巻模様は，縁によって万物はつながり合うというイメージを呼び起こしてくれた。

まず，縁には全体的なつながりという要素が重要になってくる。すると，偶然に思える出会いや出来事であっても，縁というものに気が付いていないから，それを私たちは偶然とみなすのかもしれない。しかし，人間を含めた，生きとし生けるものは，もともと縁によって皆つながり合っている。そう考えてみれば，全ての生き物は縁の結び目のような存在である。

このことを自覚できるのは，やはり人間だけであろうと私は考えを発展させてみた。自分が縁の結び目であることを知り，主体的に受け止めることができるのは，人間に感受性や認識の働きがあるからである。様々な出会いや別れを繰り返す世のあり方を無常と感じる考え方も日本の思想では見られる。無常だからこそ，縁によって生かされて生きるという感覚を大切にしてきたと言える。

そうした気付きにより，私たちの内に全ての生き物を含めた他者に対する責任の自覚が生まれてくる。つまり，この自覚は，縁によって生かされて生きることへの感謝の念だけではなく，自分自身もまたそのような縁を支え，結び付けるべき存在でもあることを，私たちに教えてくれるのである。そこから，縁に基づいた新たな生き方も可能になるのではないだろうか。

① 私たちは皆，いわば縁の網の目の中で生きているが，日本人は人と生き物の関係における縁のことは念頭になく，もっぱら人と人との縁だけについて思いを巡らせてきた。

② 人間を含めた全ての生き物は縁によって皆つながり合っているが，現実の中で経験される出会いや出来事そのものは全く偶然なものであるがゆえに，そこに縁の介在する余地はない。

③ 人間だけが縁の存在を自覚することができるが，そのことにより自らが生かされて生きるという実感が生まれ，また他者とのつながりを支えようとする主体性が得られる。

④ 私たちの内に生まれる他者への責任の自覚は，私たち自身もそのような縁を支え，結び付けるべきだと教えてくれるが，責任を負う範囲は人間社会に限られるものである。

倫　理

第 3 問　次の文章を読み，後の問い(**問 1 ～ 8**)に答えよ。(配点　24)

かつてあるイギリスの首相は「社会なるものは存在しない。存在するのは個々の男と女であり，家族である」と語った。しかし，多様な人々が共に生きる場としての社会というものを本当に無視できるのだろうか。社会をめぐる近代の西洋思想をたどることを通じて，私たちにとって社会が持つ意味を考えてみよう。

社会への意識は，まずは人々が共存する秩序を自ら構築しようとするところから生まれた。ルネサンス期のⓐエラスムスやトマス・モアらの著作に見られるように，中世末期から近世初頭にかけて，共に生きる場である社会の仕組みやルールを私物化することへの先鋭な批判が現れた。そうした批判は，17 世紀以降の絶対主義国家の成立の中で，ⓑ国家との関係においてあるべき社会のルールを自ら定めようとする市民の思想の誕生へとつながっていくことになる。その後，ⓒ歴史を通じておのずと社会の秩序が生成してきたと主張した思想家もいた。だがⓓヘーゲルはそこに現れる矛盾を鋭く批判し，社会のあるべき姿を模索した。

また，ⓔ人々が時に貧しく困難な生を送っているとき，それを社会全体が対応すべき問題なのだと考える発想を生み出したのも，社会を論じた思想家たちだった。そうした発想は，19 世紀において，資本主義体制そのものがもたらす諸矛盾を鋭く批判する社会主義者をはじめとした，ⓕ社会の変革を志向する様々な思想家を生み出した。後のフェビアン協会の思想に見られる福祉国家の構想も，こうした社会問題への対応から生み出されている。

ⓖ社会は多様な人々が共存する場である。社会 society の語源となったラテン語 socius(ソキウス)は仲間を意味する言葉だが，そうした仲間の絆(きずな)を超えた包摂性を持つことによってこそ，社会は今あるような意味を獲得してきた。だがⓗ社会に多様な他者を包摂しようとする努力は，常に一定のモデルに沿って人々を画一化するというリスクと隣り合わせだったことは否定できない。しかし，仲間を超えて人々を結び付ける社会を作り出してきた歴史そのものが，他者と共に生きることへの人間の要求を証している。だからこそ，「他者と共に」の意味を常に新たに鍛え上げていくことが私たちに繰り延べられた課題なのである。

問 1　下線部ⓐに関して，エラスムスまたはトマス・モアについての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 17

① エラスムスは，その著書『痴愚神礼讃』(『愚神礼讃』)において，自由意志を否定する立場から，当時の聖職者たちの私利私欲の追求を批判した。

② エラスムスは，古典文献や聖書について，文献学的な研究を数多く行い，宗教改革に影響を与えていくことになった。

③ トマス・モアは，その著書『ユートピア』において，各自の私有財産が尊重され保護される理想郷を描き出した。

④ トマス・モアは，人文主義者として教会の頑迷固陋(がんめいころう)な部分を痛烈に批判して，カトリックを否定し，イギリスにおける宗教改革を推進した。

問 2　下線部ⓑに関して，次の**資料**は，国と人との関係についてスピノザが論じたものである。**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 18

資料

国の究極の目的は，人々を支配したり，恐れによって押さえ付けたり，他人の権利に服従させたりすることではない。反対に，各人を恐れから解放し，できる限り安全に生きられるように，つまり人々が自分自身にも他者にも危険を及ぼさないで存在し活動する自然な権利を最高度に保持できるようにすることなのである。

国の目的は，人間を理性的存在から野獣や自動人形にすることではない。反対に，人々が自らの精神と身体の機能を発揮し，自由な理性を行使できるようにすることであり，憎しみや怒りや策略のために争ったり，敵意を持って対立し合ったりするのを防ぐことなのだ。したがって，国の目的は自由なのである。

（『神学・政治論』より）

① 国の目的は自由であり，いかなる感情も自由に発揮され妨げられないようにすることこそ，国がなすべきことである。

② 人間が理性によって導かれ，自らの心身の機能を発揮することを保障することこそ，国がなすべきことである。

③ 人々が争い対立することを防ぐため，憎悪や敵対心を押さえ付け，人々を服従させることこそ，国がなすべきことである。

④ 国の目的は自由であり，その基礎となる安全を確保するために，人々の自然権を抑制することこそ，国がなすべきことである。

問 3　下線部ⓒに関して，次の文章はこうした思想家の代表であるヒュームの説明である。文章中の［ **a** ］～［ **c** ］に入る語句の組合せとして最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［ 19 ］

ヒュームは，社会の秩序は，歴史を通じて形成されてきた「黙約」へ人々が暗黙のうちに与える承諾に基づくと考えたが，私たちが事物について持つ知識も，私たちが［ **a** ］を通じて作り上げたものと考えた。例えば，炎に近づくと熱いという経験を繰り返したことから，炎が熱さをもたらすのだと，炎と熱さの間に［ **b** ］の関係を見て取るのも，［ **a** ］によるのである。こうした議論を展開したヒュームの立場は後に［ **c** ］と評価されることにもなった。

① **a**　理　性　　**b**　帰　納　　**c**　合理論
② **a**　理　性　　**b**　演　繹　　**c**　懐疑論
③ **a**　理　性　　**b**　因　果　　**c**　合理論
④ **a**　習　慣　　**b**　帰　納　　**c**　懐疑論
⑤ **a**　習　慣　　**b**　演　繹　　**c**　合理論
⑥ **a**　習　慣　　**b**　因　果　　**c**　懐疑論

問 4　下線部ⓓに関して，ヘーゲルが説いた「市民社会」についての説明として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 20 ］

① 市民社会において，人々は各々独立した個人であり，かつ相互に依存し合いながら社会を形成する。
② 市民社会において，人々は各人の個別的な利害を追求し，それは時に対立や限りない窮乏を生む。
③ 市民社会において，人々は自らと他者とが一体であるという意識を持ち，自然的な共同体を形成している。
④ 市民社会において，人々は契約などに制約を受けながら，その中で自らの欲望を追求していくことになる。

問 5　下線部ⓔに関して，次の**資料**は，フランス啓蒙主義を代表する『百科全書』の「人間性」の項目であり，後の**ア・イ**は百科全書派の思想についての説明，**ウ・エ**は**資料**の内容についての説明である。**ア**～**エ**から適当なものを全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。

21

資料

人間性は，全ての人間に対して向けられる慈愛の感情に現れる。……この高貴で崇高な感情は，他者の痛みやそれを和らげる必要を感じるとき，大いに燃え上がり，全世界を経めぐり，隷属や迷信，悪徳，不幸を廃絶しようとするのである。……とはいえ，この感情は，私たちを個々の絆から引き離すのではない。むしろ，私たちをよき友，よき市民，よき配偶者にする。というのも，この感情は，私たちの近くにいる存在に向けられた場合にこそ湧き起こりやすいからだ。

ア　百科全書派は，人間は合理的な存在であり，理性の光によって物事を判断し，無知や偏見を脱することが重要だと考えた。

イ　ヴォルテールによって編集された『百科全書』は，伝統的な知識や学問，技術を集成し，それを継承することを目指すものであった。

ウ　**資料**では，人間性は，私たちの関心を，全人類に対してではなく，自分の身近な存在へこそ向かわせるものだと説かれている。

エ　**資料**では，人間性は他者の痛みを感知し，それを改善しようとするときに現れ，隷属や迷信などの廃絶へと向かうと説かれている。

① アとウ	② アとエ	③ イとウ
④ イとエ	⑤ アとイとウ	⑥ アとイとエ
⑦ アとウとエ	⑧ イとウとエ	

問 6　下線部ⓕに関して，社会の改良を目指した思想家の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 22

① サン＝シモンは，産業間の自由な競争により社会の発展を目指すべきだと考え，自由な競争の重要性を主張した。

② コントは，経験によっては予見し得ない社会のダイナミズムを重視し，そうしたダイナミズムによって社会を改良すべきだと主張した。

③ サン＝シモンは，国民の大多数を占めている製造業者や農民，商人などの産業者自身が運営する社会の建設を主張した。

④ コントは，人間の知識は，神学的段階から，実証的段階を経て，形而上学的段階へ至るという三つの段階をたどると主張した。

問 7　下線部ⓖに関して，次の**資料**は，多様な人々が集う場のあり方についてのハーバーマスの文章である。ハーバーマスの思想と**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 23

資料

かつての市民の文化は単なるイデオロギーではなかった。サロンやクラブ，読書会といった私的な領域での人々の議論は，生産と消費の循環に，つまりは生きるために必要なことを満たさなければならないという要求に直接服しておらず，むしろこうした生活の必要からの解放という意味において「ポリス的」性格を備えていたので，ここにおいて人間性という理念が成熟することができた。……それに反して，現代の文化を消費する公衆のレジャー活動は群居的雰囲気で行われ，討論を続ける必要もない。私的な領域で文化を習得する形式が失われるとともに，習得された内容について公共的にコミュニケーションをすることも失われる。

（『公共性の構造転換』より）

① 道具的理性の意義を説くハーバーマスは，**資料**では，かつての市民的文化は人々を生活の必要から解放することを意味したが，現代の文化は人々の人間性を成熟させないレジャー活動として行われていると論じている。

② システム合理性の意義を説くハーバーマスは，**資料**では，かつての小さなサロンなどでの議論と異なり，現代の群居的な文化の消費のあり方こそが人々の公的コミュニケーションを可能としたと論じている。

③ 対話的理性の意義を説くハーバーマスは，**資料**では，かつては生活の必要と結び付いた人々の切実な議論が市民的文化を成立させていたが，公衆のレジャー活動にその切実さはないと論じている。

④ 市民的公共性の意義を説くハーバーマスは，**資料**では，かつての市民的文化は私的領域での議論を通じて培われたが，人々が文化をただ群居的に消費する立場になってそうした議論は失われたと論じている。

問 8　下線部ⓗに関して，次の会話は，58 ページの文章を読んで，高校生Ｅと先生が交わしたものである。会話の趣旨に合致する記述として最も適当なものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。 **24**

Ｅ　：この文章の「人々を画一化するというリスク」って何でしょう。「他者と共に」の意味を鍛え上げることが課題とは，どういうことでしょうか。

先生：例えば，誰もが等しく教育を保証されることは，どんな人でも社会の一員として包み込む重要な施策であることは言うまでもありませんね。

Ｅ　：それはそのとおりだと思います。

先生：ですが，19 世紀において既に例えばJ. S. ミルは教育が人々を画一化し得ることの危険性を指摘していました。そして，人々の個性が画一化され，多様な意見が生まれる素地が無くなることが，いかに社会の発展を阻害するものであるかを論じていたのです。

Ｅ　：うーん，その危惧は分かる気もします。でも先生，一方で教育そのものが必要なくなるわけではないですよね。全ての人を社会の一員として包み込むってやっぱり重要なんじゃないですか。

先生：鋭い指摘ですね。教育や福祉などによって人々を包摂し，そこに生きる全ての人々のニーズに応えることは，社会の重要な役割です。しかし人々のニーズは多様ですから，同じ方法で応えることはできません。無理にそうしようとすると，先に述べたような画一化を引き起こす。こうしたジレンマこそが，社会の現実だと言ってもいいでしょう。

Ｅ　：社会に生きるって，ジレンマの中を生きるってことか。大変ですね。

先生：でも，そのことを前向きに捉えることはできないでしょうか。ジレンマを抱えつつ，それと真摯に向き合い変化していくことは，多様な他者が共存しやすい，私たち自身にとっても生きやすい社会の条件になりますよ。というのも，自分も含め全ての人々の個別のニーズが無下に否定されず，それを考慮すべく努力する社会になるわけですから。

Ｅ　：だからこそ，「他者と共に」生きることの意味を絶えず問い直していくことが，私たちがより良い社会を作っていくためには必要なのですね。

倫　理

① 社会はその成員を画一化する圧力を持つが，多様な他者と共に生きる中で生じる矛盾に向き合う努力に，それを越える契機もある。

② 社会は多様な他者が存在し共存する場であるので，その全ての成員を等しく包摂しようとする努力は必然的に人々の多様性を増大させる。

③ 社会は多様な人々が共存する場であり常に分裂や対立の危険を孕(はら)んでいるので，その成員の同質化を目指すことが必要である。

④ 社会は多数派の文化の下でその成員を均質化する傾向を不可避的に持つゆえに，私たちが他者と共に生きる困難を低減してくれる場となる。

倫　理

第 4 問　高校生Ｆが倫理の授業で行った次の**発表**と，それを受けて高校生Ｇと交わした議論を読み，後の問い（**問 1 ～ 9**）に答えよ。なお，議論と問いのＦとＧは各々全て同じ人物である。（配点　28）

発表　「高齢者の孤立」

少子化と高齢化と過疎化が進み，一人暮らしの高齢者が増えています。行政や施設だけでなくⓐ社会全体で支える必要があります。私は，孤立する人を出さないことが重要だと思います。「ひきこもり」はⓑ若者の問題に留（とど）まらず，中高年の間でも増加しています。衛生・健康・金銭の管理ができず，支援を拒否して孤立する人もいます。自宅で一人きりで亡くなり，何日も発見されない人は，年間で約 3 万人も出ています。孤立する人を放置するのは，ⓒ人間の尊厳を顧みない冷たい社会ではないでしょうか。生産人口の減少とともに福祉を担う人も不足しています。介護ロボットやⓓ情報通信技術を活用した独居高齢者の見守りの仕方も開発しなければなりません。私は将来，そのような研究をしたいと考えています。

Ｇ：**発表**を聞いて孤立の深刻さが分かりました。でも支援を拒否する人の中には，一人でいることが好きな人もいるんじゃないでしょうか。倫理の教科書にも，ⓔ孤高に思考せよと言う思想家が出ていたような気がしますね。

Ｆ：そうでしたか。具体的な名前は，今思い浮かびませんけど…。支援を拒否する人についてですが，中には遠慮する人や強がりを言う人もいます。一人でいたいという人もⓕ人間関係で問題を抱えている可能性があると思うんです。

Ｇ：そう決めつけるのはどうでしょうか。私の祖父はⓖ自然豊かな山村でほぼ自給自足で暮らしていて，一緒に住もうって言うと一人の方が気兼ねしないと言います。ⓗ年配の人たちの一人暮らしの意味も色々だと思うんです。

Ｆ：でも，地域社会の人口が減少していて，体を壊したら孤立無援という人もいるでしょう。誰もが健康で文化的な生活を送れるようにしないと。

Ｇ：もし私が高齢者だったら，そんなの余計なお世話だと思うでしょうね。

問 1　下線部ⓐに関連して，次の**ア・イ**は，個人と社会の関係を論じた思想家についての説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 25

ア　個人は，家族や地域などのコミュニティと密接に関わっており，役割や責任を負荷された自己であり，共通善を追求するべきだと説いた。

イ　現代社会を生きる個人は，互いを知らない「孤独な群衆」であり，孤独感を和らげるために，周囲やマスコミの意見に同調すると説いた。

① **ア**　サンデル　　**イ**　リースマン
② **ア**　サンデル　　**イ**　リップマン
③ **ア**　ノージック　　**イ**　リースマン
④ **ア**　ノージック　　**イ**　リップマン
⑤ **ア**　サルトル　　**イ**　リースマン
⑥ **ア**　サルトル　　**イ**　リップマン

問 2　下線部ⓑに関連して，青年期の心理・社会的モラトリアムについての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 26

① 青年が，学生生活を送る過程において，無関心，無感動，無為，無気力で過ごしてしまう状態のことである。

② 青年が，失敗や挫折によって自信を喪失し，自分の未熟な面を気にし過ぎ，日常生活に支障を生じる状態のことである。

③ 青年が，修学も就業もせず，職業訓練も受けていないという，先進国に共通する社会現象で，社会的自立が困難な状態のことである。

④ 青年が，一人前の社会人としての役割を果たせるようになるために，社会的責任や義務を，猶予または一時的に免除されている状態のことである。

倫　理

問 3　下線部Ⓒに関連して，次の**ア**～**ウ**は，生命倫理における生命の尊厳や患者の意思の尊重に関わる考え方についての説明である。その内容として正しいものを**ア**～**ウ**から全て選んだとき，その組合せとして最も適当なものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。 27

ア　SOL は，生命が絶対的な価値と尊厳を有するという立場と関連し，終末期医療において，患者の回復の見込みがなくても生命を維持する治療を行う根拠と見なされている。

イ　パターナリズムは，患者が十分な説明を受けて，理解した上で治療の方針や方法に同意することを指し，患者の知る権利や，生命や身体に関する自己決定権を尊重する立場を背景とする。

ウ　QOL は，望ましい生き方や生命の質を重視する立場と関連し，終末期医療の治療選択の場面では，患者の意思を尊重する根拠となり得るが，質が低いとされる生命の軽視につながるという批判もある。

① **ア**
② **イ**
③ **ウ**
④ **ア**と**イ**
⑤ **ア**と**ウ**
⑥ **イ**と**ウ**
⑦ **ア**と**イ**と**ウ**

問 4　下線部④に関連して，Fは次の**レポート**を書き始めた。**レポート**中の下線部**ア**～**ウ**は情報通信技術をめぐる制度や倫理的課題についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 28

レポート

近年の情報通信技術の進歩は著しいが，様々な課題もある。IoTデバイス*が，独居高齢者の見守りに使われる場合，監視され，プライバシーを侵害されたと感じる人もいるだろう。個々人の**ア**プライバシーを保護するための個人情報保護法との兼ね合いも気になる。他方で，公権力を持つ組織に関わる情報や議事録などの**イ**公共情報に対する「知る権利」を保障するための情報公開法も非常に重要だ。

……情報が様々な面で重要性を持つ現代社会では，高齢者に限らず，私たちにとって，**ウ**膨大な情報の中から誤った情報と信頼できる情報を取捨選択し，活用するための情報リテラシーを獲得することが必須だと思う。特に，誤った情報をインターネット上でそのまま発信することは，他者や社会に大きな損害をもたらす可能性があるので，注意が必要である。

*IoTデバイス：IoTとは「Internet of Things（もののインターネット）」のことで，IoTデバイスとは，インターネットに接続できる家電などの機器や端末を指す。

① ア 正　イ 正　ウ 正
② ア 正　イ 正　ウ 誤
③ ア 正　イ 誤　ウ 正
④ ア 正　イ 誤　ウ 誤
⑤ ア 誤　イ 正　ウ 正
⑥ ア 誤　イ 正　ウ 誤
⑦ ア 誤　イ 誤　ウ 正
⑧ ア 誤　イ 誤　ウ 誤

問 5　下線部ⓔに関連して，アーレントが孤高について書いた次の**資料**が授業で配付された。アーレントの思想と**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 29

> **資料**　アーレント『精神の生活』より
>
> 実存的に見れば，思考することは独りぼっちの営みではなく，孤高の営みである。孤高性は，自分が自分を仲間としている人間的状況である。自分を「一者の中の二者」へと分けられず，自分を仲間とすることができないまま一人でいると独りぼっちになってしまう。……人が本質的に複数形で存在することを，おそらく何よりも雄弁に示すのは，孤高が……単なる自己意識を，思考する活動の間は二者性として現実化するということである。この「自分と自分との二者性」によって，思考は，私が問うものであると同時に答えるものでもあるような真の活動となる。

① 全体主義の発生の原因と形成過程を考察したアーレントは，**資料**では，孤高に思考することが，自分と同じ問題意識を持つ複数の多様な人々と共に問い，答えるという営みの中でのみ成立すると主張している。

② 人間の営みを労働・仕事・活動に区分したアーレントは，**資料**では，「自分と自分との二者性」は，自分自身を仲間として思考することのうちに現れ，そのとき人間は独りぼっちではなく孤高であると主張している。

③ ナチズムを生む社会的性格を心理学的に分析したアーレントは，**資料**では，真の思考は孤高の営みだが，独りぼっちにならないためには，問い，答えてくれる他人を模範とする二者性を維持するべきだと主張している。

④ 人間中心主義から離れて存在忘却を批判したアーレントは，**資料**では，人間の複数的なあり方が，思考することのうちに示されるとし，人間は問うと同時に答える者になるべきだと主張している。

問 6　下線部ⓕに関連して，「ヤマアラシのジレンマ」に当てはまる事例として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 30

① 授業のグループ発表に向けて，資料を集めて発表の内容について議論していたら，うまくまとめることができなくて，いつの間にか，友達との関係について，おしゃべりしてしまったな。

② 今日，仲の良い友達と山にハイキングに行くことになっていたんだけど，寝坊して行けなくなった。でも，これって家に籠もって勉強するチャンスなのかもしれないな。

③ 友達がいなくて一人でいると，なんとなく寂しくなるんだけど，仲良くなり過ぎるとつまらないことで喧嘩（けんか）しがちなので，やっぱり一人でいるしかないのかな。

④ 部活の先輩が「分からないことはすぐに聞くように」と言ったので，ちょっとしたことでも質問するようにしたら，「すぐに人に聞かないで少しは自分で考えて」と言われた。どうしたらいいんだろうな。

問 7　下線部ⓖに関連して，自然環境に関わる問題や取組みについての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 31

① 環境や人々に大きな害を及ぼし得る行為は，因果関係がまだ科学的に証明されていなくても規制するべきだという原則を，他者危害原則と呼ぶ。

② 生態系を保護する目的で，自然界を生きる動物などを原告として，人間がそれらの代理人となって提起する裁判のことを，自然の権利訴訟と呼ぶ。

③ 自然環境を維持するため，自国の国民から集めた募金を元手に景勝地を買い取って保護する活動のことを，グリーン・コンシューマー運動と呼ぶ。

④ 他の生物に対する優越的地位を人類が共有するという発想に基づいて，人々が動物を食糧や実験台として搾取することを，共有地の悲劇と呼ぶ。

倫　理

問 8　下線部ⓗに関連して，次の**図 1**・**図 2** は授業で配付されたものであり，60 歳以上の人を対象に調査を行った結果の一部である。**図 1** は一人暮らし，**図 2** はそれ以外の回答者が，現在どの程度生きがいを感じているか(「生きがい感」と略す)という質問に回答した人数とその内訳を示す。次ページの会話は，この結果についてＦとＧが交わしたものである。**図 1**・**図 2** および会話の文脈も踏まえて，会話中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。［ 32 ］

図 1　一人暮らしの回答者の生きがい感の回答内訳(%)

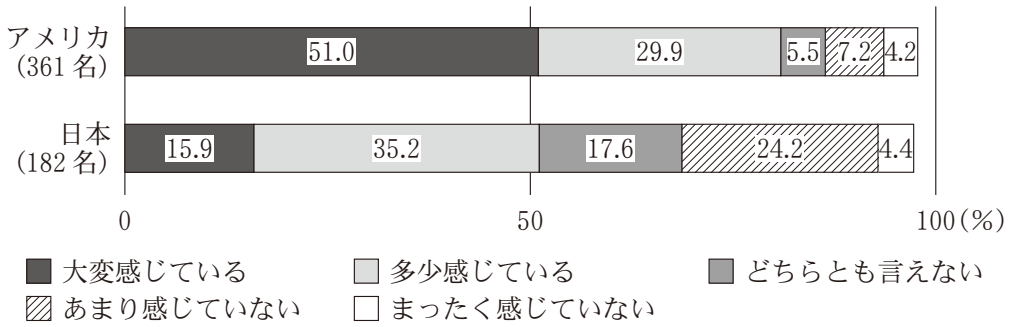
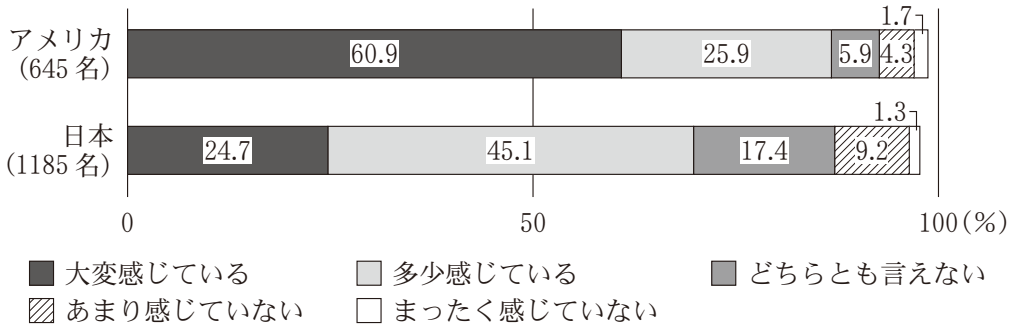


図 2　一人暮らし以外の回答者の生きがい感の回答内訳(%)



(注)　**図 1**・**図 2** 中の数値はそれぞれ，項目ごとに，回答した人の割合(%)を表す。「その他・無回答」を除くなどしているため，それぞれの総和は 100 とならない。

(資料)　内閣府『令和 3 年度版高齢社会白書』(2021 年)より作成。

Ｆ：一人暮らしの人は生きがい感が低いと思っていたけど，**図１・図２**を見ると，［ **a** ］んだね。一人暮らしの人でもそうでない人でも生きがいを感じているという人が多いんだな。一人暮らししやすい社会の仕組みになっているのかもしれないし，もしかして一人の方がストレスなく生きられる人も一定数いるのかもしれないな。

Ｇ：その国ではそうかもしれないけど，［ **b** ］んだね。誰かと暮らしている人の方が生きがいを感じているという結果だから，支え合って生きる方が良いと考えるような文化的価値観があるのかもしれないね。

① **a**　アメリカの方が日本よりも回答者全体における一人暮らしの割合が高いし，アメリカでは生きがいを「大変感じている」と回答した一人暮らしの人の割合も５割を超えている
　b　日本では，生きがいを「あまり感じていない」と「まったく感じていない」の回答を合わせた割合は一人暮らしでは約１割ある

② **a**　日本の一人暮らし以外の回答者は，生きがいを「あまり感じていない」と「まったく感じていない」の回答を合わせても約１割しかないけど，一人暮らしの回答者だと合わせて約３割もある
　b　アメリカでは，一人暮らしでも生きがいを「大変感じている」と回答した人数は日本より多い

③ **a**　アメリカでは，回答者全体における一人暮らしの割合が日本よりも高いし，アメリカの回答者は一人暮らしでもそうでなくても約８割以上が生きがいを大変または多少は感じていると回答している
　b　日本では，生きがいを大変または多少は感じている人が一人暮らし以外の回答者では約７割なのに，一人暮らしの回答者では約５割に下がる

④ **a**　日本では，生きがいを大変または多少は感じている人の割合が，一人暮らし以外の回答者では約７割なのに，一人暮らしの回答者では約４割に低下する上，「あまり感じていない」人の割合も４分の１くらいある
　b　アメリカでは，一人暮らしでも生きがいを「大変感じている」と回答した人の割合が５割を超えている

倫　理

問 9　次の会話は，68 ページの**発表**と議論の後にF，G，先生が交わしたものである。68 ページの**発表**と議論も踏まえて，会話中の［ **a** ］～［ **c** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。［ 33 ］

先生：二人の議論を聞いていて，孤立と孤独を区別できそうだと思いました。孤立は自ら望まずに集団から取り残されることですが，孤独は自ら望んで社会から一歩ひいた観点で物事を観想することだと。

F　：なるほど！　私が防ぎたいと思ったのは［ **a** ］だということですね。それが［ **b** ］も否定しているとGさんは受け取ったのでしょうか。

G　：そう思いました。多分，私は青年期の［ **b** ］が思考の深まりと成長につながると習ったのを，高齢者に重ねていたのかもしれません。実際，年長者は豊富な人生経験や知恵を持っていると思うんです。でも，ちょっとしたきっかけで［ **a** ］に変わるのかもしれませんね。

F　：例えば怪我（けが）をして出歩かなくなって体力が落ちたり，人と話さないので認知能力が低下したり…。特に独居高齢者には，話を聴きに行くなどして継続的に見守ることが必要だと思います。

G　：ただ，それが監視になってしまうと，自立した人間として生きているという気持ちを尊重しない一方的な支援になると思うんですよ。

F　：そうですね。でも，独居生活が困難なのに放置するのは，人間としての尊厳を損なうことになりますよね。いざというときのために見守ってもらっていると思うからこそ，安心して一人でいられるのでは？

G　：なるほど，地域の信頼できる人が時々訪問する程度の，付かず離れずの継続的な見守りなら，監視にならないですね。

F　：私は，**発表**では高齢者を一人にしないことばかり考えていましたけど，Gさんと話して，［ **c** ］ことが大切だと分かりました。支援が必要かどうかを見極めるためにも，孤立と孤独の区別は役立ちそうですね。

先生：今までの倫理の授業で出てきた，孤独に真理を探究する思想家と，孤立する他者への慈愛を説く思想家の両方が参考になりますね。

① **a**　孤　独

b　孤　立

c　高齢者が周囲の人々と信頼関係を築き，一人でいたいという意思も尊重されながら，安心して自立的に生活できる環境が整っている

② **a**　孤　独

b　孤　立

c　一人でいたいという高齢者の意思を尊重するが，それが遠慮や強がりではないかを見極めつつ，心身の状態が悪化したら支援する

③ **a**　孤　独

b　孤　立

c　高齢者が自分なりの生き方を尊重された上で，自分ではどうしようもない状況に陥ってしまったときには，支援が得られるような環境がある

④ **a**　孤　立

b　孤　独

c　一人で生活している高齢者が困っているとは限らないし，手助けが必要かどうかは周囲の人より本人の方が分かるので，本人の意向に任せる

⑤ **a**　孤　立

b　孤　独

c　高齢者の話に時々耳を傾け，信頼関係を築き，一人でいたいという意思を尊重しながら，独居生活が尊厳を損なう状態になったら支援する

⑥ **a**　孤　立

b　孤　独

c　一人で生きようとしている高齢者の尊厳を保つため，地域の人々による訪問をやめて，気付かれないように見守りのための機器を設置する